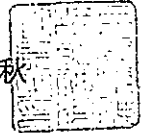


神河（総）第 453 号
平成20年10月16日

国土交通省道路局長 様

兵庫県神崎郡神河町長 足立 理 秋



今後の道路行政についての意見・提案の提出について

平成20年9月19日付国道企第37号で依頼のありました見出しの件について、
別紙のとおり提出します。

今後の道路行政についての意見・提案

① 道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

兵庫県神崎郡神河町

①	道路整備を実施するに当たって行われる、交通量調査は、結果的に人口の少ない地域は、道路財源が活用されないことになり、人口減少地域の道路整備はできない状況である。同時に実態調査を行い、政策決定すべきである。
②	町村合併は、地方分権を進めるための国家政策であり、その効果を高めるために、道路整備など重点化すべきである。このことについては、特例債措置がされているが、道路特定財源を活用すべきである。
③	ガソリン税を一般財源化するのであれば、ガソリン税の税率を見直し、特定財源で残し、一般財源については、消費税で措置すべきである。

今後の道路行政についての意見・提案

②-1 地域の現状と抱える課題

兵庫県神崎郡神河町

現 状	課 題
① 当町には、国道312号線が中央を通っており、バイパス的に播但自動車道が走っている。国道では、歩道・交差点が未改良で児童・生徒の通学に支障をきたしている。	① 住民同意に問題はあるが、財源に難がある。児童たちは、いつも危険な状態で通学している。
② 主要地方道生野岩屋線は、未改良で、バス運行にも支障をきたしている。	② 合併支援道として位置づけられている。合併により中学校を統合することとなったが、通学距離が21キロメートルに及び時間距離の短縮が望ましい。
③ 合併の効果を高めるには、トンネル化が望ましいが、現実には厳しい	③ 地域活性化に最大の効果となるが、財源の確保が困難であり、政治的配慮が必要である。

今後の道路行政についての意見・提案

②-2 地域の目指すべき将来像

兵庫県神崎郡神河町

神河町は、面積が202平方キロメートルもあり、道路なくして町の発展はなしえない。

特に、国・県道の整備は急務であり、住民の安全安心の町づくりにしするものである。

少子高齢化と人口減少に歯止めをかけ、町の活性化をはかるために交流を推進しているが、道路が狭小で困難な状況である。

「高原と清流の町」として、都市との交流を促進し、活力あるまち 神河町 を創造する。